

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)	良く なっている やや良く なっている	タクシー運転手	単価の動き	・3か月前に比べると中距離や短距離で利用する客がやや多い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・例年4月は閑散期であるが、最近でも高額商品が売れることがあり、まずまずの売上となっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・年代は年配層に偏っているが平日昼間でも客は多い。4月初め頃は、会社帰りの新入社員の来店が夕方には多く、消費税増税にもかかわらず、来客数は2～3か月前よりも増加している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4月以降も販売点数は前年より増加傾向にあり、売上高も前年同期を上回っている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・消費税増税の影響がどのように出るか心配であったが、結果的には客単価は横ばいで、客の購買意欲は変わっていないと感じる。
		コンビニ（企画担当）	競争相手の様子	・競合店舗や業界内での情報から、やや良くなっていると判断する。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で一気に販売量が増えた反動で、前月よりは減少しているものの、例年の販売量を上回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・4月はもっと悪い状況を想定していたが、問い合わせは多く全体的に車の購入にも前向きで、良い感触を持っている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・消費税増税後も来客数は前年比で増加している。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で3月には宿泊客が前年同月より30%程増加している。4月になってもまだ余韻が残っているようで、引き続き30%近く宿泊客が増加している。一方で、地元客が中心の昼食・夕食需要は前年よりも30%近く減少しており、相殺となる感じである。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・問い合わせや照会が、徐々に増加してきている。
		タクシー運転手	単価の動き	・夜の繁華街は相変わらず人出が少ないが、前年同月よりは、やや人出がある。高速道路を利用する中距離の客が多少増加しているため、1乗車あたりの単価は少し上昇し、売上も少し良くなっている。
		通信会社（サービス担当）	来客数の動き	・ウィンドウズXPのサポート終了を契機とするパソコン等の変更に伴って、光回線の申込が増加している。また、新築物件への移転に合わせた光回線への変更や光回線を利用した映像サービスの申込が増えている。
		変わらない		商店街（代表者）
商店街（代表者）	販売量の動き			・消費税増税後の反動で販売量、来客数ともに低水準ではあるが、予想した範囲内に収まっており、特に激しい落ち込みとはなっていない。
商店街（代表者）	販売量の動き			・消費税率が上げられたことにより、販売量は若干減少している。
商店街（代表者）	単価の動き			・消費税増税で客単価がもっと下がるものと予測していたが、客には購買意欲があり、客単価はさほど変わっていない。
商店街（代表者）	単価の動き			・消費税率アップと商品価格の値上げにより値段が千円未満から千円超となった商品は販売量が落ち込んでいるが、想定範囲内である。値段が千円以下に収まっている商品については販売量が少々伸びている。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き			・高額品の精肉の売上には消費税率引上げの影響が出ているが、その他の食品にはあまりみられない。
一般小売店〔電気屋〕（経営者）	販売量の動き			・必要なものは高額でも購入するが、不要なものはたとえ安くても購入しないという傾向が顕著であり、その傾向は、景気に左右されない。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き			・小売業の売上が伸びているとマスコミは報道しているが、地元の店主との話からは、そのような実感はない。4月に入ってから売上への伸びに寄与する高額商品の動きが悪い。ただし、自店の場合は前月に店内を改装をしたので他店よりは良い。

一般小売店〔食品〕（経営者）	お客様の様子	・客の話では、この先どうなるかは、消費税増税後しばらく様子を見てからでないといけないという声が多い。当店の売上は、前年同期比とほとんど変わっていない。
一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・式年遷宮による増加を続けていた来客数はほぼ前年並みとなり、落ち着きをとり戻している。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要で4、5月予定の結婚式の内祝いや法事の商品等の予約、精算をすべて済ませる動きがあって売上が増えたが、その反動で売上は伸びない。世の中には好調な会社もあるため、若干は伸びる部分もあるが全体としては変わらず、売上は伸びる傾向ではない。
一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・式年遷宮は終わったが、引き続き客でにぎわっている。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・消費税増税の影響はほとんど感じられない。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み購入の影響で生活必需品の売上は減っているが、減少幅は小さく消費に底堅さを感じる。デフレを脱却し失業率も3.6%と低い数字となり、全体的には消費税率引上げの影響は、前回の消費税増税時よりも小さい。また、各メーカーあるいは販売店ともに新商品を続々と出しているため、マイナスとなる時期は短期間で終わる。
スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税増税後は消費の低迷が予想されたが、さほどの影響はみられない。売上、販売数とも前年を上回っている。
スーパー（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税後の販売量の減少は、少しずつ戻ってはいるものの厳しい状況が続いている。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・消費税増税による買い控えのためか、売上は前年比78%、来客数は同じく79%で推移している。衣料品の落ち込みが大きいほか、食品についても近隣スーパーが低価格型の業態に変更して再オープンし、苦戦している。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・消費税増税後の落ち込みはもちろんあるが、日々の食材は価格が上昇しても大きくは落ち込んでおらず、それほど変化はない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3月の消費税増税前の駆け込み需要は少なく、好影響は月末の1週間程度であった。4月以降、多少の買い控えはみられるが、キャンペーン等を実施し来客数は前月比で2%増加している。しかし、購入単価への効果は小さく、単価は5%マイナスで売上高は減少している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は、前年同期と比較して1日あたり20～30人の減少が続いている。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	単価の動き	・前月には消費税増税前の駆け込み需要で生活必需品等のまとめ買いがあり、売上も良かったのでその反動が心配された。しかし、4月になって多少の落ち込みはあるものの想像していた程の反動は見受けられず、3か月前と比べても大きな変化はない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車の修理や車検など必要な支出は避けられないので、客は、消費税の増税分が高くなった等と口にしつつも変わらず来店してくれる。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で、新築戸建て住宅は前年に比べてマイナスとなっている。また、リフォームなどについても契約数は減少している。ただし、分譲住宅・マンションや一般の建築工事については増加傾向である。
高級レストラン（役員）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込みによる来店はほとんどなかったこともあり、4月以降もその反動はない。来客数は、ほぼ前年並みの動きで推移している。
一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・消費税率が8%となり、その影響が大きい。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・消費税増税の反動はない。また、この時期特有の宴会需要も取り込むことができたため、3か月前と同様に前年を上回る見通しであるので、景気の動向は変わらないとみる。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊需要は価格に敏感である。アジアからの団体客は増えているが、国内からのビジネス利用の需要は弱い。宴会需要は、徐々に改善傾向にある。

旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新学期が始まったばかりだが、早くも夏休みの家族旅行の問い合わせが多い。既にお盆休みの時期は混雑していて予約が入れない。国内旅行は、消費税の増税で少し値上がりした影響で、1泊以上の宿泊旅行から日帰り旅行にシフトしているように感じる。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークではあるが、4月は飛び石連休となりまとまった客がない。消費税増税に伴って旅行代金も値上がりしていると思っているのか、来客数も少ない。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・消費税率引上げにより旅行代金は全体的に上がっている。しかし、旅行需要は思った程は減っていない。旅行代金微増の影響もなく、旅行申込はコンスタントにある。海外旅行は減少気味であるが、その分、国内旅行が増加している。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響は予想ほどではないものの、依然として新規契約数は低レベルとなっている一方で、解約数は高止まりである。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・機器更改による増設工事が増加してきたが、4月に入ってやや減少している。	
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・4月以降、客からの問い合わせ数は減少を見込んでいたが、今のところは、前年同月と同様に繁忙となっている。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・北アルプス立ち寄りルートの人気により、台湾からの旅行者数は上昇している。一般旅行者には変化はなく、横ばいである。	
観光名所（案内係）	販売量の動き	・人の動きは良くなってきている。	
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月の入場者数は予算比、前年比ともにクリアし、順調に推移している。売上については、予算を多少下回るものの前年よりは増加している。2、3月は天候等の影響で数字を落としたが、今月は3か月前の良好さと段々変わらなくなってきている。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・首都圏の自動車関係業種等では景気が良いようであるが、地方にはまだまだ好況の波が来ておらず、以前と変わらない。	
その他サービス [介護サービス]（職員）	お客様の様子	・消費税率が引上げとなり、客からは増税分の出費が痛いとの声が多く聞こえてくる。買い控えをするというよりも、業者の見直しに動いているようにも感じる。	
設計事務所（職員）	それ以外	・消費税増税前の駆け込み需要で増改築・新築の物件が多数あったため、景気は良くなり受注も増加したが、結局、材料費が高騰し職人も不足して、消費税増税後も完了できない物件もある。そういったこともあり、これから景気が良くなるとは思えない。商売に長けた人は一時的な材料、職人不足に乗じて値上げをするという動きもあり、残念な気持ちである。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・建築業界では職人が高齢化する一方で、東北復興や東京オリンピック関連の需要により完全に職人不足の状況である。人件費単価が高騰しており、消費税の増税と重なり厳しい状況となっている。	
住宅販売会社（従業員）	それ以外	・付き合いのある下請業者の方からは、「3月末を過ぎれば仕事がなくなり、困ることになるだろうと思っていたのに、結構忙しい。」という声を多数聞いている。	
その他住宅 [不動産賃貸及び売買]（経営者）	それ以外	・一時的には忙しかったが、繁忙期が終わり先行きに不透明がある。	
やや悪くなっている	一般小売店 [自然食品]（経営者）	販売量の動き	・4月の売上は、過去3か月の平均よりも10%～15%ほど減少している。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・消費税増税の影響は予想していたが、特に衣料品などで買い控えが起きている。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・4月に入って消費税増税前の駆け込み需要の反動がみられたが、中旬から月末にかけて、売上は前年並み近くまで回復している。
	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・消費税増税の影響が顕著に表れている。
	百貨店（販売担当）	販売量の動き	・消費税増税後の落ち込みは、予想はしていたものの想定以上である。当社全体でみても客数が前年の70%程度の店舗が多い。競合先も押し並べて同様の状況であり、3か月前とは雲泥の差である。

百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・消費税増税後の反動もあり、高額品を中心に幅広い商品群で大きな影響が出ている。日を追うごとに数字は良くなりつつあるが、影響は長引きそうである。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・一般の小売店では客単価が下がっている。今後も若干悪くなる。消費税増税を機に八百屋の廃業が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・消費税増税後は売上減少が続いている。販売価格が上がっている分で客単価は何とか維持しているが、来客数の減少により売上減少という状況になっている。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税による売上減少は、想像していたほどの落ち込みではない。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・消費税率が上がった分、購買意欲が下がっている。
スーパー（営業企画）	来客数の動き	・消費税率の引上げ後は、直前の駆け込み購入の反動などから客数が5%ほど低下している。価格訴求型の業態ほどその傾向が強く、逆にアップグレード業態ほど早い回復がみられる。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・消費税増税前のたばこ等のまとめ買いによる影響で、4月は買い控え気味になっている。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・ミセス服は春物の流行が一段落し、不足分を付け足すという買物が多くなり、購買単価の低い客が多くなっている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で、売上は減少している。ただしパソコンの買換え需要が堅調で、全体的にはそれほど悪くはない。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・消費税増税後の状況は予想通りで、前年に比べてかなり悪い状況になっている。来客数が非常に悪く、販売にも影響が出ている。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・4月から消費税増税の影響で来客数が減少している。それに合わせて販売量も減少し、今後どのようになるかがみえない状態である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・予想通り4月に入って販売量はかなり落ち込んでいる。目標を下方修正しても達成できない状況になっている。また、工場への在庫数も3月までに前倒しとなっているため、目標の7割に届くかどうかである。大変厳しい状況ではあるが、「悪い」と判断するほどまでは落ち込んでいない。
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・販売量には消費税増税の影響が出ているが、予想よりもマイナス幅は小さい。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・買い得な価格の商品や生活必需品を除いて、動きは良くない。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税により消費が低迷している。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・ここ1、2か月は閉店する店が増えている。知り合いの飲食店等でも客足が極端に落ちているとの話である。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・足元の販売量は落ち込んでいる。消費税増税の影響か、新年度となった事の影響によるのかはわからない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税直後の今月から来月にかけては少し悪くなっている。6月からの回復に期待したい。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・4月の消費税増税後、販売の動きがピタッと止まっている。回復には少し時間がかかる気がする。
タクシー運転手	お客様の様子	・4月からの消費税増税に伴い、当地のタクシー料金は、初乗り料金、メートル毎の事後料金ともに金額は変わらないが初乗りに係る距離が短くなっている。若干高くなったというイメージがあるようで、乗り控えが発生し客数は減少している。
その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間の演目の入場券は、例年よりも販売数が減少している。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・段々と暖かくなって客が増える時期であるにもかかわらず、相変わらず客が来ない。
美容室（経営者）	来客数の動き	・消費税増税によって料金が値上がりすると感じる客が非常に多く、来客数はかなり減少している。
美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・消費税増税前の3月にまとめ買いをした人が多かったため、今月はやや悪くなっている。

		設計事務所（職員）	お客様の様子	・今月くらいまでは受注の話もあるが、来月以降は、見通しがつかない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・管理物件の契約件数は増加しているが、単価が上がらず利益確保も難しい状況が続いている。景気が上向いているという実感はまだない。
悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・消費税増税の影響は深刻である。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・取引先の飲食店では週末でも客が半減している店が出てきている。週の初めは客がゼロの店やゼロに近い店が、引き続き増える傾向である。
		百貨店（経理担当）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動による買い控えにより、売上は前年比10%以上落ち込んでいる。売上を構成する3つの要素（入店客数、購買客数、購買単価）のすべてが前年を割り込んでおり、なかでも購買単価の落ち込みが顕著である。
		百貨店（営業企画担当）	単価の動き	・消費税増税後、客からは日々の生活のなかで負担増を強く感じているとの声をよく聞く。来客数には変化がないが、買上点数、購買単価が大幅に低下している。
		百貨店（販売担当）	単価の動き	・消費税増税前には売上増加に大きく貢献した時計宝飾やインポートブランド、紳士関連商品が大きく落ち込み、客単価ダウンとなっている。一方、食品や婦人衣料のような増税前には駆け込み購入が少なかった商品は落ち込みも小さい。耐久財や長期的に使用する商品で単価が高いものほど落ち込みは大きく、食品など鮮度が重要な商品では単価が低く、全体として売上が伸びない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は3か月前と比べて同じか、むしろ少し増加しているが、1人当たりの購買点数が減っているため、売上は減少傾向となっている。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・大型店のオープンもあり、客の減少がみられる。消費税増税の影響で買上単価は低くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・消費税増税の影響が、来客数が回復しない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・消費税増税前のたばこの買い置きによる反動で、4月中旬頃までは来客数、売上高ともに前年を大きく下回っている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が一気に減少している。これほどまで落ちるとは思わなかった。新車の話題も少ない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人関係での車の購入はあるが、消費税増税の影響により個人からは全く商談が出ない状態である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量が悪くなることは想定していたが、想定以上に悪い。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税の影響もあり、例年でも販売台数が少ない4月が、前年を大幅に下回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売台数は、前月までの受注残に助けられて何とか数字を残すことができたが、純受注台数は2割弱落ち込んでいる。新型車両が発表されたにもかかわらず、店頭には活気がない。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きから、悪いと判断している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の年齢層が全体的に高齢化し、馴染み客が高齢者向け施設に入るなど来店できなくなり、新しい客が増えることもなく難しい状況である。	
	理容室（経営者）	お客様の様子	・周りからは景気の良い話は出ない。相変わらず料金の安い店に客が流れている。	
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・広告を打っても客があまり来ない。駅周辺の物件は良いようで、地域によって格差がある。	
企業動向関連 (東海)	良くなっている			
	やや良くなっている	化学工業（総務秘書）	それ以外	・多くの企業でベースアップが実施され、昇給率はリーマンショック前の水準に戻っているという報道や、過去最高益を出す企業がたくさんあるとの報道が、景気の上向き感を一層刺激する。消費税増税によって顕著に落ち込んだという報道も、あまり聞かない。
		化学工業（人事担当）	それ以外	・ホテル客室の稼働率がここ数年と比較して高くなっているそうである。特にビジネス客が増えているとのことである。

	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動で受注量が一気に減ることを心配したが、特段落ち込むこともなく、前年と同程度の受注量で推移している。客先の生産量も、3月ほどの勢いはないが特に落ち込んではいない。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税の増税もあり、受注金額は伸びている。しかし、経費を控除した粗利は非常に圧迫されている。また、すぐ先の仕事の状況もみえないという客が多い。1～2か月先の仕事でも確保できている客は1割もないような状況である。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・月ごとに変動はあるもの、緩やかに受注が伸びている。新製品の立ち上がりも順調で期待が持てる。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として厳しい受注競争にはあるが、受注高は、3か月前あるいは前年と比較して上がってきている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出、輸入貨物ともに増加している。
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷物1個当たりの輸送単価が上がってきている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・売上は、前年比マイナス0.2%とほぼ横ばいであるが、荷物の動きは良くなってきている。
	会計事務所（社会保険労務士）	それ以外	・6月中旬の海外旅行を申込んだが、既にキャンセル待ちか受付終了で空きを探すのに骨が折れた。旅行シーズンでもないのにこうした状況というのは、これまで旅行を我慢していた人々にも動きが出ていると感じる。また、不動産の売買の話も耳にするようになり、少しずつ景気が動き始めているように感じる。
変わらない	食料品製造業（経営企画担当）	それ以外	・消費税増税後、消費マインドの冷え込みは徐々に影響してくる気がする。食費など身の回りの消費についてはそれ程意識しないものの、高額品の買物については、より選択の目が厳しくなると思われる。自分自身の消費に関しても、削れるところはできるだけ節約しようと考えているようになってきている。
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・仕事が減る時期ではあるが、例年に比べて落ち込みは少なく済みそうである。物件が動いている実感がある。一方、鋼材など原材料の値上げが止まらないので、収益的には厳しい。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月第1週は、消費財の荷量が激減したが、2週目以降は前年並みで推移している。輸出入関連の荷動きは落ち込むことなく好調を維持している。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・4月に入った途端に、荷物の動きが前年を下回り、前々年並みにまで下がっている。消費税増税前の駆け込みの反動と思われるが、こうした動きは様々な業界で表れており、決して景気は上向きとはならず、ムードはむしろ湿っている感じである。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・消費税増税後の景気の落ち込みが心配である。政府も労働者も景気回復を目指しているが、貿易赤字の増大、消費者心理の冷え込み、公共料金等の値上げや年金支給額の減額といった不安材料がいっぱいである。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・消費税増税の影響で色々な業種ではまだ受注量が残っていて忙しい状況が続いているが、一部ではその動きも落ち着き、仕事量が減少している。業種によって違いが大きい。
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の自動車部品メーカーでは、4月以降も高い稼働率を維持している。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・中小企業のオフィス仲介ではアベノミクスの効果もなく、売上は変わっていない。まだまだ景気は上昇基調にはない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・消費税増税を前にした告知広告の受注は思ったよりも少なかったが、通常の広告も含めて減少しているということはない。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きは変わらない。
	公認会計士	それ以外	・業種によっては消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動が見受けられるが、景気全体としては、大きな変化はないようにみえる。

	経営コンサルタント	それ以外	・消費税増税による駆け込み需要は終了し、今のところの足踏み状態である。建築状況もあまり伸びてきておらず、地価水準としても伸びはみられない状況である。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設業では消費税増税前の駆け込み需要による繁忙状況から、増税後の落ち込みが大きい。他の業種に関しては想定内の影響のようである。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・4月以降、開発増員や新規案件のための外部調達依頼はなく、業況が良いとも悪いとも判断しづらいが、プロジェクトが立ち上がるのはこれからという時期であるため、多少安心感はある。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・4月に入っても生産量はそれほど落ちていない。ゴールデンウィークを控えた前倒し発注もあると思われるが、消費税増税による落ち込みは、それ程ないのではと考える。ただ、ガソリン価格が5円ほど上昇しており、影響が懸念される。
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響で、受注量、販売量ともに5～6%程低下している。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月に入って受注量が減少している。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動が出ている。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先では、ETCの通勤割引がなくなったため、高速道路を利用して通勤する人が激減している。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響により、3月下旬からオーダー数が減少している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建住宅ともに売行きが止まっている。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・日経平均株価や円相場が横ばいで、少し前に比べると個人資産は増えていないことから、従来ほど投資や消費に向かって個人資金が動いていない。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要も終了し、不動産の動きが鈍化している。
	悪くなっている	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き
新聞販売店〔広告〕（店主）		受注量や販売量の動き	・消費税増税を機に夕刊購読の中止が相次ぎ、夕刊の存続そのものが懸念される状況である。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子 ・派遣業界においては4月は契約更改のため例年は稼働率が落ちるが、今年は稼働率の推移が堅調であるところから、景気は良い傾向にあると感じる。
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き ・求人数は明らかに増えており、企業の採用意欲は高まっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き ・求職者数は、ここしばらく連続して前年同月を下回っている。4月に入っても同じ状況で、前年比を5%程度下回る見込みである。
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き ・求人数は前年度よりも更に増加する傾向にあり、大企業だけでなく中小企業にまで採用のすそ野が広がっている。
変わらない		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き ・求人案件に対して求職者が不足している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き ・歓迎会向け派遣スタッフの利用が好調である。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き ・企業の求人数は前年比10%弱の増加で推移しており、3か月前と比較しても堅調に推移している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子 ・自動車生産に関しては、4月以降、消費税増税前の駆け込み需要の反動が予想されたが、新型車種で増税前の受注残があるため、それほど落ち込みはない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き ・飲食、サービス業以外の職種では、求人の動きに大きな変化はみられない。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人申込件数は7,500件前後で、3か月前より4%増加しているが、求人数は15,000人で横ばい状況である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・速報値でみた新規求人倍率は、3月が1.44倍、4月は1.41倍とわずかに下がってはいるが、新規求人の動向としては、変わらない状況にある。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者は減少し、事業主都合による離職者も減少している。一方で、求人数は、頭打ちからやや減少に転じている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・消費税増税後の買い控えは、予想したよりも少ない。業務上関係のある中小企業や金融機関からも、同様の声が聞かれている。
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	それ以外	・ここ最近、自社や周りの企業の状況等には変化がない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要の反動による冷え込みに加え、ゴールデンウィーク前というタイミングもあり、求職者は仕事探しを一時休止している。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の話では、前月までは消費税増税前の駆け込み需要に対応して生産してきたが、今月に入って生産活動は縮小しているそうである。また、本体価格の引下げの動きがあり、収益が下がってしまうとのことである。
悪くなっている	-	-	-